

科目名	家族心理学特論 [院]					単位	2.0
担当教員	井上 薫						
授業形態	講義	開講期間	後期	配当年次	1, 2	授業番号	1682

●授業のテーマ

家族理解と家族へのアプローチ

●到達目標

家族について、システム論を基礎において理解する。代表的な家族療法・短期療法に基づく面接法を習得する。

●学習内容(授業概要)

家族をシステムとしてとらえ、歴史・発達から見る視点、関係・構造からみる視点、機能・コミュニケーションから見る視点を習得する。さらに、家族との面接や家族や親族、関係者を招いて行う合同家族面接の方法の基礎を習得する。

●学習内容(授業計画)

1. 家族とは
2. 家族理解の基盤（システム論的理解）
3. ジェノグラムとは
4. 家族ライフサイクル
5. 世代間境界
6. コミュニケーション
7. 家族面接
8. 合同家族面接
9. 解決志向短期療法（1）
10. 解決志向短期療法（2）
11. 解決志向短期療法（3）
12. 三つの家（1）
13. 三つの家（2）
14. 三つの家（3）
15. 学んだことのふりかえり

●準備学習・事後学習の内容

準備学習として、テキスト事前配布資料を読み込むこと。事後学習として、学びの振り返りを記録すること。

●成績評価方法・基準

授業への参加の状況（30%）、各回の振り返り（30%）及びレポート試験（40%）により評価を行う。

●テキスト（必携）

≪No.1.≫書籍名：「三つの家」を活用した子ども虐待のアセスメントとプランニング、著者名：ニキ・ウェルド、ソニア・パーカー、井上直美（編著）、出版社：明石書店、販売先：井上研究室

●参考文献／その他

日本家族研究・家族療法学会『家族療法テキストブック』金剛出版、2013

P. ディヤング、I. K. バーグ（桐田弘江、玉真慎子、住谷裕子訳）『解決のための面接技法』金剛出版、2004

遊佐安一郎『家族療法入門：システムズ・アプローチの理論と実際』星和書店、1984

●履修上の注意

授業に欠席・遅刻しないこと。